

第6学年 家庭科学習指導案

日 時:令和3年10月6日(水)5校時

対 象:町田市立鶴川第一小学校 第6学年4組30名

授業者: 家庭科専科担当 教諭 田辺 紀子

1 題材名 家族のためのスペシャルウィーク ～家族の一員として～

「A 家族と家庭生活」(4)家族・家庭生活についての課題と実践

ア日常生活についての課題と計画、実践、評価

2 題材の目標

・家庭の仕事について日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

(思考力・判断力・表現力等)

・家族の一員として、生活をよりよくしようと家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭の仕事について日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、家庭で実践しようとしている。

4 題材観と指導方針

(1)題材について

新学習指導要領では、「A(4)家族・家庭生活についての課題と実践」が新設され、児童一人一人が自らの問題を見いだして課題を設定し、計画、実践、評価・改善していくことが求められている。家庭科で学習していることは、家庭の仕事に関することが多く、家庭生活にとってなくてはならないものである。家庭科で身に付けた知識及び技能を総合的に活用し、家族の一員として、家庭の仕事について課題をもち、その解決に向けて粘り強く取り組むことができる児童を育成したいと考え本題材を設定した。本題材に取り組む前に、家族のために仕事をする経験を積ませるため、夏休み中に家の仕事を10回分記録させる課題に取り組んだ。しかし夏休みの課題を終えると、家庭の仕事を継続せずにやらなくなる傾向がある。自分の生活を見つめさせ、「宿題だから家の仕事をする」という傾向を省み、家族の願いを受け止めて自分が家族のためにできることを課題として考えさせたい。

そのために、本題材の学習に入る前に事前アンケートとインタビューを行い、夏休みに行った家庭の仕事は常々誰がしているか、家族が自分にしてほしいと思っていることは何かを調べさせ、課題設定の手がかりとすることにした。課題を解決するための期間はおおよそ一週間で「スペシャルウィーク」と名付け、取り組む内容にあったオリジナルテーマを考えさせる。その際には、「いつ・どこで・だれが・何を・どうする」と、学習したことを生かして計画を立てられるようにする。

家庭での実践後は実践報告会を設け、課題解決に向けた一連の活動を振り返って評価・改善し、友達の実践報告も参考にしながら家庭の仕事についての新たな課題をもつことができるようにする。

家庭と積極的に連携を図り、効果的な学習が進められるように配慮していく。

(2)題材に関する児童の実態

6年生の児童は家庭科の学習に意欲的に取り組んできた。また、家庭での実践課題も積極的に行っている。夏休みの課題「家庭の仕事をしよう」では、家族の協力を得ながら、家庭での仕事を積極的に取り組み、家

族のために役に立つ経験を積むことができた。今も手伝いではなく、継続的に仕事として取り組んでいる児童もいるが、その時だけで終わってしまい、家庭の仕事を「手伝い」という感覚の児童もまだ多くいる。「家族にとって快適な家庭とはどんなものだと思うか」という児童へのアンケートでは、「ゆっくり過ごせる、涼しい・暖かい、協力して仕事をする、けんかをしない、たくさん話す、家がきれい、団らんタイムがある、優しい、安心・安全、自分が自分のことをちゃんとする」等の回答があった。快適な家庭とはどんなものか考えることはよくできている。しかし、その快適な家庭に向けて、学んだことを生かして自ら実践することはまだできていない。また、これまで学習したことを組み合わせて、家庭の仕事に生かすことができている児童もまだ少ない。

そこで、児童が家族の一員として、家庭の仕事に積極的に取り組み、家族と協力してよりよい生活を送ることの必要性を感じ、実践する態度を育てていけるようにしたい。

5 題材の指導計画

(1) 指導と評価の計画(3時間)

小 題 材 名	時 間	学 習 過 程	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
	事前 学習		・家庭の仕事は誰がしているか、ずっとやり続けている仕事はあるか、家族が「やってほしい」と思う仕事は何か、アンケートとインタビューに取り組む。			
スペ シャ ル ウ ィ ー ク で 取 り 組 む こ と を 考 え よ う。	1 【 本 時 】	生 活 の 課 題 発 見	○自分の家庭の仕事への関わり方について問題を見出し、課題を設定する。 ・自分の家庭の仕事への関わり方を振り返り、問題点を見出す。 ・家庭の仕事への関わり方を考え、オリジナルテーマを設定する。 ・自分の課題を発表する。	・家庭の仕事の関わり方の中から問題を見出して課題を設定している。 【発言内容】 【行動観察】 【学習シート】	・家族の仕事に関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【発言内容】 【行動観察】	
	課外 学習		調査活動:実践計画を立てるために必要なことを調べよう。 ・家族にも自分の課題を伝えて意見を聞き、計画に生かす。			
スペ シャ ル ウ ィ ー ク の 計 画 を 立 て	2	解 決 方 法 の 検 討 と 計 画	○スペシャルウィークの取り組みについて実践に向けた計画を工夫して考える。 ・計画を立てる。 ・小グループで計画を発表し、アドバイスをしあう。 ・全体に発表する。 ・実践へむけて見直しをもつ。	・家庭の仕事に関する課題の解決に向けて、よりよい生活を考え、計画を工夫している。 【発言内容】 【行動観察】 【学習シート】	・家庭の仕事に関する課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しよう	

よう						としている。 【発言内容】 【行動観察】
	課題解決に向けた実践活動	<家庭実践> 家族のためのスペシャルウィーク！～家族の一員として～				・さらによりよい生活にするために、家庭の仕事に関する新たな課題を見付け、家庭での次の実践に取り組もうとしている。 【発言内容】 【行動観察】 【学習シート】
スペシャルウィークのいいね！を見つけて、これからの家庭生活につなげよう	3	実践活動の評価・改善	<p>○実践した活動について、評価、改善をし、考えたことをわかりやすく表現し、伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告会を行う。 ・友達のよいところを見つけ、伝え合う。 ・自己評価や家族のコメントを参考に取り組みを振り返る。 ・振り返ったことをもとに、これからの生活に生かせることを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事に関する課題の解決に向けて家庭で実践した結果を評価したり、改善したりしている。 <p>【発言内容】 【行動観察】 【学習シート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事に関する課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく説明したり、発表したりしている。 <p>【発言内容】 【行動観察】 【学習シート】</p>	

8 本時の展開(1/3時間)

- (1)小題材名 家族のためのスペシャルウィークであることを考えよう
- (2)本時のねらい

○自分の家庭の仕事への関わり方について問題を見いだして課題を設定することができる。

(3)学習活動と評価

時間	学習活動	○指導上の留意点 ☆児童への支援	◆評価規準 【評価方法】 (観点) □資料 ・教材教具
見つめる	1 スプレッドシートと導入スライドを見る。	<p>○家族の願いを聞いた事前アンケートの結果をスプレッドシートに打ち込んでおく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な家庭とはどんなものか、何人か児童の意見を発表させる。 <p>○スライドを通して、夏休みの課題から学んだことや、家庭の仕事への関わり方について問題点をつかむようにする。</p>	<p>□事前アンケート</p> <p>□スライド</p>
	2 めあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 家族のためのスペシャルウィーク！を考えよう。 </div>	

<p>活動する</p>	<p>3 家族の願いを受けて自分のスペシャルウィークの取り組み方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かして、「いつ・どこで・だれが・何を・どうする」と、自分にできることを考え、ワークシートに書く。 <p>4 スペシャルウィークのオリジナルテーマを考える。</p> <p>5 グループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の取り組みや理由について、交流をする。 <p>6 決まったオリジナルテーマを発表する。</p>	<p>☆インタビューしてきたことや学習してきたことを参考に、何に取り組むかアイデアをいくつか考えさせる。</p> <p>○スペシャルウィークの取り組みのポイントを提示し、主体的に取り組めることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として考えている 学習したことを生かしている </div> <p>例 「整とんスッキリ大作戦」 「忙しい家族を助けよう大作戦」 「きれいにサッパリプロジェクト」</p> <p>○計画がよりよくなるアドバイスを付箋に書かせる。</p> <p>○家庭で取り組む仕事を、スプレッドシートを活用してクラス全体で共有することを予告する。</p>	<p>◆家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。 【発言・観察・ワークシート】 (思・判・表)</p> <p>・付箋</p>
<p>つなげる</p>	<p>7 本時の学習を振り返る。 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○交流した友達のよいところを発表させる。 ○自分のテーマと家族の願いが合っているか、実現可能か、家族に話を聞いてくるように伝える。</p>	

(4)板書計画

夏休みの宿題で取り組んだこと

- ・お皿洗い ・テーブルふき ・布団干し
- ・掃除機をかける ・洗たく物たたみ
- ・ペットの世話 ・皿片付け ・ゴミ出し
- ・料理の手伝い ・食事作り ・配膳 ・草むしり
- ・米とぎ ・床そうじ ・玄関そうじ
- ・トイレそうじ ・くつ下洗い ・弟妹の世話
- ・ボタン付け ・荷物持ち ・水やり など

仕事の コツや工夫を見つけたね！

スライド・スプレッドシートをスクリーンで表示

家族のための スペシャルウィーク ～家族の一員として～

eq\o\ac(○,め) 家族の いつ どこで だれが 何を どうする 学習したことを使う工夫

★アイデア

- ・洗たく物をたたむ
- ・風呂掃そうじする ⇒
- ・料理の手伝い
- ・晩ご飯前 リビングで ぼくが 家族の洗濯物を たたむ... ⇒しわを伸ばしてたたむ。種類ごとに分けてしまう。
- ・毎日 風呂場で 自分が お風呂場を 洗う... ⇒洗剤とゴム手袋を用意して高いところから順に掃除する。⇒古歯ブラシを使って細かいところの汚れを落とす。

★オリジナルテーマ 例

- ・めざせ！洗たく物たたみマスター
- ・起きる時間をマネジメント
- ・いそがしい家族を助けよう大作戦

家庭の仕事のポイント

- ・家族の一員として考えている
- ・学習したことを生かしている